

# 胃がん患者における *Helicobacter pylori* (*H. pylori*) 除菌後の非がん部粘膜のテロメア長変化に関する研 究

## 1. 研究の対象

平成19年4月～平成29年12月までに東京都健康長寿医療センター（旧東京都老人医療センターを含む）で胃癌に対し内視鏡治療や手術治療を受けた方を対象としています。

## 2. 研究目的・方法

テロメアは加齢その他種々の原因により短縮し、テロメアが過度に短縮することなどががんなどの疾患が起きやすくなると考えられています。

また胃がんにおいて、*Helicobacter pylori* (*H. pylori*) の感染はがんの発症に重要な役割を果たしています。

日本の*H. pylori*感染率は、60代以上では約60～70%と高いのですが、高齢の*H. pylori*感染者に対する除菌治療が胃がんのリスクを軽減することができるかどうかは科学的に証明されていません。

本研究は*H. pylori*の除菌が胃がんの罹りやすさに影響を与えるかどうか検討する目的でテロメア長を検討します。治療や診断のために採取された臓器はすべて病理組織検査を行ってがんの状態を診断します。我々はこの診断が終わった検体（パラフィンブロック）を用いてテロメアの長さを計測します。研究期間は倫理審査委員会承認後から平成33年3月までとなります。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる試料は、平成19年4月1日から平成29年12月31日までに東京都健康長寿医療センター（旧東京都老人医療センターを含む）において内視鏡的、または手術的に採取された胃の検体で、必要な病理診断終了後に病理診断科に保管されているホルマリン固定パラフィンブロックを用います。研究試料については、研究用標本作製時より研究用通し番号のみで管理し、個人情報とは完全に分離した形で扱います。また保存する情報は、年齢、性別、主診断、*H. pylori*感染の有無とその検査方法、除菌歴などで、個人を直接特定できる個人情報については収集しません。またテロメアには遺伝子情報を含まないため遺伝子情報も収集することはありません。従って本研究によって患者さんの個人情報が漏れる心配はありません。

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

東京都健康長寿医療センター

〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2

電話03-3964-1141 Fax03-3964-1982(平日9:00～17:00)

研究責任者 消化器内科 潮 靖子